



CAMPBELL RIVER

キャンベルリバー市

カナダ西部、ブリティッシュコロンビア州にあるバンクーバー島の大陸側に位置し、“サケの都”とも呼ばれる、サーモンフィッシングで有名なまち。6～9月のシーズンには、世界各国から釣客が訪れます。北緯50度に位置しながら、海流の影響で年間を通して比較的温暖な土地です。

キャンベルリバー市との交流といえば、なんといっても高校生交換留学とヤングアンバサダー（青少年女性親善訪問団）の派遣受け入れです。
高校生交換留学は1983年に始まり、毎年、両市から2人ずつ留学生を派遣。現在までに86人の高校生

石狩市とキャンベルリバー市の交流は、1981（昭和56）年までさかのぼります。当時、カムバックサーモン運動*で来道していたカナダ太平洋サケマス協会のジム・マレー氏と、キャンベルリバー商工会議所のウォレン・ピーターソン氏が「サケで栄えた歴史を持つ石狩と交流を深めたい」とキャンベルリバー市長のメッセージを持って、石狩市を訪れたのが始まりです。その翌年には、民間団体の「石狩・キャンベルリバー都市交流委員会」が発足し、1983（昭和58）年10月23日、キャンベルリバー市において、姉妹都市提携の調印式が行われました。

交流のはじまり

カナダ キャンベルリバー市 サケがとりもつ縁

が両市を行き来しています。

また、ヤングアンバサダーがスタートしたのは1987（昭和62）年からで、すでに577人の小中学生が、毎年交互に訪問し、友情を深めています。

※豊平川をきれいにしてサケを呼び戻そうという運動

へ行くことです。

サ:○○○焼きシリーズが好きです。お好み焼き、たこ焼き、たい焼きなど。楽しいのはショッピング！あと、札幌の大通公園はどんな季節に行ってもきれいで好きです。

—日本で不思議なこと、驚いたことは？

ク:トイレです。便座が暖かいのにはびっくりしました！あとは、こちらの人たちは遅くまで起きている人が多い気がします。僕の家では、みんな21時半にはベッドに入って寝ていました。

サ:私もトイレにはびっくり！シャワーみたいなのがいっぱい。食事に絶対ご飯が出てくるのも驚きました。ゴミの分別にもびっくり。学校で感じたこととしては、日本は男性社会だなあということ。カナダでは男女平等です。

—印象の強い日本語は？

ク:「分かりません」という言葉です。今まで一番使った言葉です。

サ:「めんどくせえ」「うるせえ」「もったいない」の3つです。最初の2つは強いイメージを与えられるので使います！「もったいない」という言葉は学校の英語の授業で習ったのですが、すごくいい言葉だと思いました。



カラオケ
いいですね

●クリストファー・プレストン
石狩翔陽高校に在籍。読書、コンピュータ、バンドが趣味で、17歳。

バンクーバー島にあるまちの一つ、キャンベルリバー。その魅力を一言にすると「美」です。高い山や壮大な森林、グラブルな海、澄み切った空気。どれをとってもパーフェクト！そして、そこに住む人々も、また美しいのです。自分たちのまちを誇りに思い、自然を愛してやまない気持ちが彼らの笑顔から伝わってきます。キャンベルリバーの自然と人々が持つ、魅力溢れる美しさは圧巻です！



NPO法人 石狩国際交流協会
平野セーラ





キャンベルリバー市でも、姉妹都市提携25周年を記念してたくさんの事業が予定されています。

石狩・キャンベルリバー・ワニノ姉妹都市提携周年記念事業

今年は、カナダ・キャンベルリバー市と姉妹都市提携25周年、ロシア・ワニノ市と同15周年を迎えます。石狩・キャンベルリバー・ワニノ姉妹都市提携周年記念事業実行委員会では、各種事業を展開します。ぜひこの機会に国際交流に参加してみませんか。

募集!

ホストファミリー

姉妹都市よりバグパイプバンドの若者たちなどがやってきます。あなたも普通の生活の中で彼らを迎え入れてみませんか？ ホームステイで新たな世界が広がります！

期間 9月18日(木)～21日(日) 3泊4日

ボランティアスタッフ

日常会話程度で、英語・ロシア語ができる通訳ボランティアスタッフを募集しています！周年記念事業にかかるとさまざまな事業で活躍してみませんか？

期間 9月18日(木)～21日(日)

問合せ

石狩・キャンベルリバー・ワニノ姉妹都市提携周年記念事業実行委員会
 (NPO法人 石狩国際交流協会内)
 ☎64-5931 ☎64-5921
 ✉ iia@dream.ocn.ne.jp
 ㊦ http://www8.ocn.ne.jp/~iia//



海が近い住宅街。オーシャンビューは大人気で、海を挟んでクアドラ島と灯台が見え、朝日が昇るときはまさに絶景です。

25年という月日の中で

かつての交換留学生が大人になって、今度はホストファミリーとして留学生を受け入れたり、はじめはヤングアンバサダーとして、次は交換留学生として、また数年後には、ヤングアンバサダーの引率者となり。両市のつながりは、多くの市民に支えられ、25年間ゆつくりと、そして着実にはぐくまれています。

サケが縁となつて始まった両市の交流は、サケが毎年川に帰ってくるように、これからも毎年続いて行くでしょう。

留学生に突撃インタビュー!

交換留学生として現在市内に滞在するサマンサとクリス。日本語の授業があるカリハイ高校に進学し、夢は日本で教師になることといます。そんな二人にキャンベルリバー市の魅力や、石狩市での暮らしなどについて語ってもらいました。

—キャンベルリバーの魅力は？

クリス (以下、ク): やっぱ自然です！大きな森林があり、大きな公園もたくさんあります。

サマンサ (以下、サ): キャンベルリバーは海がすぐ近くなので、とても恋しいです。あとは、キャンベルリバーでは違う人種の人がいるのが当たり前。でも、石狩では私たちは珍しいので、普通の人と思われないことがちょっと不思議です。

—キャンベルリバーのおいしい食べ物は？

ク: インドやタイ料理のレストランがたくさんあって、おいしいです。

サ: 港近くのアイスクリーム屋さんがとってもおいしいですよ！カナダの料理はあまり好きじゃないですが、アイスクリームはおすすめです。

—お気に入りの過ごし方は？

サ: キャンベルリバーは釣りのメッカで

すが、高校生は釣りをしません。でも、たまに学校の友達と近くの海へ行ってキャンプなどはします。

—日本でおいしいもの、楽しいことは？

ク: 日本のカレーはカナダのとは違った味でおいしいです。

おいしいと言えば、ホストファミリーのお母さん方が作ってくれるお弁当は最高です！

楽しいことは、カラオケへ行ったり自転車です。



●サマンサ・ウインドロー
 石狩南高校に在籍。趣味は読書、絵を描くこと、音楽鑑賞(邦楽)。18歳。